

サトイモ科

ホソバテンナンショウ

Arisaema angustatum Franch. et Sav.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

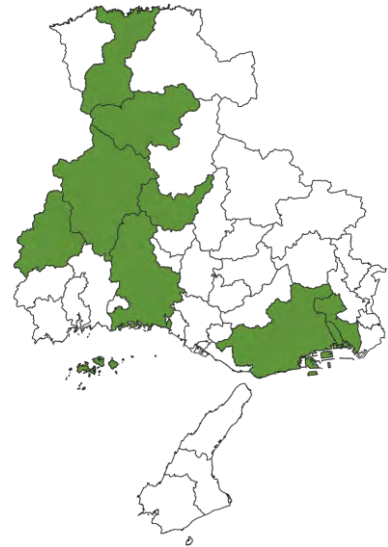
神戸市、西宮市、芦屋市、姫路市、神河町、宍粟市、佐用町、養父市、香美町

■ 国内分布

本州(関東から近畿)

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	○
				希少	○



■ 特記事項

—

■ 保護上の留意点

—



写真提供: 松岡成久

■ 種の概要

平地から山地の野原、林縁、林下等にふつうに生育し、外形の変異が著しい。偽茎は葉柄や花柄より長く、多くは紫褐色あるいは赤紫色の斑がある。葉は2個あるいはややまれに1個、7-17(-23)枚の小葉を鳥足状につけ、小葉間の葉軸はよく発達する。花期は4-6月。花序は葉より高く突き出るものからそうでないものまである。仏炎苞は九州や四国などの暖地では葉よりも早く開くものもあるが、他の地域では葉とほぼ同時期またはより遅れて開く。